

教材・支援機器活用実践事例（特別支援学校版）

実践年度・タイトル		平成（27）年度
		PowerPointを活用した音楽の実践事例
授業について	教科名等 （該当する教科名等を選択。当てはまらない場合は他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。）	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	単元・題材名	音楽 単元名「歌おう」題材名「卒業式の歌」
	授業の目標	○歌詞を覚えて、曲に合わせて声を出したり、歌ったりすることができる。
	観点別学習状況の評価の観点 （教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。）	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他（ ）
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない （ 1～3 ）年 （ 6 ）人 （該当するものを選択し、学年・人数を記載してください。）
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD（学習障害） <input type="checkbox"/> ADHD（注意欠陥/多動性障害） <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 （特性・ニーズ）	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ○どこを見てよいか分からなくなったり、注意が他に向きやすかったりするため、歌詞カードを見て歌うことが難しい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 （使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。）	【ハードウェア】 ○パソコン ○テレビ 【ソフトウェア】 ○PowerPoint ・歌詞カードの作成と投影
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援（ <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援） B活動支援（ <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援） C学習支援（ <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援） ○ 曲のテンポに合わせて、歌う部分の歌詞を一行ずつ表示したり、色が変わったりするアニメーションを活用することで、児童が曲に合わせて歌うことができるようにする。
授業に授業者展開支援	授業展開と画像 （授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。）	1 起立して全員で歌う。 ・テレビに注目するように言葉掛けと指差しをする。 2 名前を呼ばれたらその場に立ち、歌う。 ・児童の状況に応じて、声に出す箇所の歌詞を指差し。 3 全員で歌う。 4 座る 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	○生徒の変容 以前は、歌詞カードに注目することが難しかったために、どこを歌ってよいか分からなくなる児童が多かったが、アニメーションを活用したことは、歌詞を確かめながら歌うことへの意識の向上や、児童が発声できるよう指導する上で効果的であった。 ○授業の評価 PowerPointの活用は、一度に提示する情報量を調整することにつながった。児童は、教師が意図した部分を中止できるようになり、効果的に授業を進めることができた。